

平成24年度事業報告

I 事業

平成24年度は、公益財団法人に移行し、一層高まる社会的信用やニーズに的確に答えつつ、名古屋市と密接に連携しながら、中小企業への各種支援事業を実施した。

具体的には、プラズマ技術産業応用支援事業やものづくり基盤技術の高度化支援事業をはじめとする研究開発の促進、創業や新たな事業展開に関する相談・研修事業など中小企業等への支援に努めた。また、次世代ものづくり基盤技術を集積させた産業見本市を開催したほか、指定管理者として市民サービスの一層の向上を図るため、安全・安心でより効率的な施設の管理運営に努めた。さらに、中小企業の技術者等の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等の財団法人名古屋市工業技術振興協会から引き継いだ事業を実施し、賛助員企業をはじめとする当地域の中小企業のニーズを踏まえた事業展開を積極的に図った。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	決算額	64,510千円
---	--------------	-----	----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

・独立行政法人理化学研究所

「介護支援ロボットの研究開発」

「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」

「人間-ロボット協調による生活支援に関する研究」

・公益財団法人名古屋産業科学研究所

「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」

・公益財団法人名古屋産業振興公社

「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	決算額	101,902千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、愛知・名古屋地域知的クラスター創成事業(第I期)による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の技術相談やテス

ト処理・分析（機器トライアル）など様々なニーズにきめ細かく対応し、また、意欲ある中小企業への研究開発資金の提供、プラズマ技術の情報発信を通して、プラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発や研究部会での技術課題の検討等、産業応用センターと連携して産業応用を推進した。

（1）産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口の開設

専門的知識・経験を有するチーフテクニカルコーディネーター及びテクニカルコーディネーターを配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 38社 283件

イ テスト処理・分析の実施

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器トライアル件数 24社 856件

ウ 可能性トライアルの実施

機器トライアルを発展させ、中小企業等の技術的課題等をさらに深く研究するため、企業の経費負担によってトライアル試験を行い、課題解決を図った。

可能性トライアル件数 5社 9件

エ 産業応用センターの利用促進及び技術動向調査の実施

技術移転コーディネーター（2名）の訪問等により、産業応用センターが行う支援事業や保有機器等の情報提供を行い、産業応用センターの利用促進を図った。また、プラズマ技術の産業応用に関する企業や市場の動向を調査するとともに、最新のプラズマ技術に関する情報を収集し、産業応用センターの運営に反映した。

対応企業 延べ81社

オ 産業応用センター運営会議の開催

シニアアドバイザー、有識者等を委員とした運営会議を設置し、産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

会議開催 4回

カ 産業応用センターの月刊誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、産業応用センター及びプラズマ技術に関する情報を毎月提供した。

定期号 12回

(2) PLAMの運営

会員企業 322社
講演会開催 6回（うち実習3回）
国際シンポジウム開催 1回
参加者 延べ486人

また、PLAM参加企業と名古屋市工業研究所が共同で立ち上げた研究部会において、表面改質や廃液処理等の共通課題の解決に取り組んだ。

部会 3部会（環境イノベーション、表面処理、計測・制御）
参加企業 5社
部会開催 4回

(3) 創造的プラズマ技術産業応用研究開発事業費の補助

中小企業等が単独では実施し難い新技術・新製品に繋がる研究開発を促進することにより、地域産業の活性化に資することを目的として、中小企業等が行うプラズマ技術の産業応用を図るための研究開発に要する経費を補助した。

補助件数 3件

3	共同研究受託事業	決算額	53,330千円
---	----------	-----	----------

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理を行った。

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（※経済産業省の委託事業）

- ・テーマ 「樹脂製導光板に三次元形状の微細溝を精密加工するために、被加工面形状の機上計測機能を具備した多軸制御工作機の開発」
(平成22～24年度事業)
- 「透過型格子フィルタ法を用いた次世代型フィルム検査装置の開発」
(平成23～25年度事業)
- 「大気圧プラズマ技術による次世代自動車用ポリマー繊維導電材の製造技術開発」
(平成24～25年度事業)

(2) 研究成果展開事業研究成果最適展開支援プログラム

(※独立行政法人科学技術振興機構の委託事業)

- ・テーマ 「ナノ粒子水分散液の高濃度化を指向した液面プラズマ技術の開発」 (平成23～24年度事業)
- 「液面プラズマによる高濃度ナノ粒子酸化チタン水分散液の調製技術の開発」 (平成24～25年度事業)

4	研究開発促進事業	決算額	4,123千円
---	----------	-----	---------

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 環境分野 資源循環型ものづくり研究会

会員 8大学 141企業

開催 3回、参加者 110人

(イ) 医療・福祉・健康分野 ヒューマンインターフェイス研究会

会員 10大学 147企業

開催 1回、参加者 81人

(ウ) 情報分野 N-cube

会員 13大学 383企業

開催 3回、参加者 152人

(エ) ものづくり技術分野 CAEを活用したものづくり研究会

会員 2大学 63企業

開催 1回、参加者 73人

イ 連携相談事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催等 2回

(2) 資源循環型ものづくりに関するシンポジウムの開催

開催日 平成24年12月13日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 318人

内容 特別講演会、事例研究の発表及び表彰、技術情報交流会

5	新事業創出支援事業	決算額	155,467千円
---	-----------	-----	-----------

(1) 相談、専門家派遣事業、創業研修事業等

ア 相談事業

創業や新たな事業展開を進めようとする起業家や中小企業を支援するため、プロジェクトマネージャー等を設置し、窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。また、平成24年度から小規模企業担当マネージャーを配置し、厳しい経営環境に直面している小規模企業者の経営改善への取り組みに対する支援を行った。

相談企業 556社

相談内容 1,145件

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

名古屋市や他団体で行っていた中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣する事業を平成24年度から当公社に統合し、専門家派遣事業として窓口の一本化を図り、経営改善等に取り組む中小企業に対して現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 63社

派遣回数 176回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 6社

派遣回数 59回

ウ 創業研修事業

(ア) 起業家支援セミナー

開催日 平成24年5月25日

場所 nabi/白金

対象 創業や経営の基本に関心のある方

参加者 13人

内容 契約の基本と注意点

(イ) 小規模事業者のための経営支援セミナー

開催日 平成25年2月25日
場所 nabi/金山
対象 小規模事業者や公的貸貸施設に関心のある方
参加者 22人
内容 売上に貢献するwebマーケティングや資金繰り改善の手法
について

エ 中小企業外国出願（特許・意匠）支援事業

中小企業の海外への事業展開を支援するために、日本国出願に基づく外国出願（特許・意匠）費用を1/2以内で補助した。

出願件数 5件

オ 事業可能性評価委員会の運営

中小企業が行おうとする新事業の可能性について評価した。

事業可能性の評価 6社

なごやビジネスマッチング事業の対象企業の選定審査 16社

カ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市関係支援機関を中心に、各機関が連携・協力し、創業や新事業にかかる出前型のワンストップ相談及び関係施策のPRを行った。また、名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（22支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議を開催した。

名古屋市関係支援機関

- ・名古屋市中心企業振興センター
- ・公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
- ・名古屋市工業研究所
- ・名古屋市信用保証協会
- ・公益財団法人名古屋産業振興公社

(ア) ワンストップ相談の実施日・場所

- ・ウェルフェア2012
(平成24年5月25日～27日 ポートメッセなごや)
- ・しんきんビジネスフェア
(平成24年9月7日 ポートメッセなごや)
- ・メッセナゴヤ2012
(平成24年11月7日～10日 ポートメッセなごや)
- ・TECH Biz EXPO 2012

(平成24年11月28日～30日 ポートメッセなごや)

(イ) 名古屋市新事業創出連絡会議

あいち新事業活動促進連携会議と合同で開催した。

- ・担当者会議の開催 1回

(2) ビジネスマッチング事業

ア 大学発のベンチャー支援

将来性が見込める大学のシーズを活用した優れたビジネスプランを顕彰し、発表・マッチングの機会を提供するための発表会・交流会を開催したほか、地元の大学が主催する展示会に出展し、支援制度のPRをはじめ情報提供を行った。

(ア) 大学発ベンチャービジネスプラングランプリ発表会・交流会の開催

開催日 平成25年1月25日

場所 名古屋市中小企業振興会館

プラン発表企業等 5社2学生

発表会参加者 123人

交流会参加者 57人

(イ) 地元大学主催の展示会への出展

- ・中部大学フェア

出展日 平成24年8月24日

参加者 70人

- ・テクノ・フェア名大

出展日 平成24年8月31日

参加者 137人

イ ビジネスプラン募集・発表会の開催事業

創業間もない企業、個人等を対象に販路拡大や事業提携を支援するため、事業計画を募集し、発表の機会を提供した。

なごや発ビジネスプラン募集・発表

プラン発表企業等 3社

発表会参加者 104人 (公益財団法人あいち産業振興機構と共催)

ウ 中小企業見本市等出展支援事業等

市内中小企業者を首都圏の見本市に出展させることにより、販路開拓を支援した。

出展支援企業 8社

(3) インキュベート施設の入居企業への総合的な支援

ア 技術・経営相談等支援事業

都市型工業団地 (nabi/金山、nabi/白金) の入居企業に対して、専門家へ相談料、見本市への出展料等に対する支援を行った。

支援件数 31件

イ インキュベーションマネージャーによる支援

都市型工業団地 (nabi/金山、nabi/白金) の入居企業の支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 33件

日常的な経営相談 153件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者の支援を行った。

ウ 創業準備ルームの開設及び運営

都市型工業団地 (nabi/白金) において市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに創業マネージャー等による研修及び相談支援を行った。

第3期・第4期支援者 28名

24年度創業者 16名

6	普及啓発・情報提供事業	決算額	125,859千円
---	-------------	-----	-----------

(1) 普及啓発事業

ア 第23回マイクロ・ナノメカトロニクス国際シンポジウム「MHS2012」の開催

マイクロ・ナノメカトロニクス分野の先端技術に関する研究成果の普及啓発を図るため、名古屋市や他の科学技術振興団体と共同で、シンポジウムを開催した。

開催日 平成24年11月4日～7日

場所 名古屋大学 (野依記念学术交流館)

参加者 178人

イ 市民向け啓発事業 (なごや・サイエンス・ひろば)

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を行った。

開催日 平成24年8月4日

場所 サイエンス交流プラザ、サイエンスパーク研究開発センター、
先端技術連携リサーチセンター、独立行政法人産業技術総合研
究所

参加者 2,932人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2012」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴ
ヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学
生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成24年6月8日

最終公開審査会 平成24年9月13日

場所 第1次審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(セミナールーム3)

最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

応募作品 4,689点 (うち海外からの応募作品232点)

来場者 700人 (最終公開審査会)

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立
場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と
共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 7回

参加者 延べ999人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活
かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供するため、講習会・講演会
や会員交流会を開催した。

講演会・講習会 15回

優良企業の見学会・交流会 28回

他都市の先端企業の見学会・交流会 5回

会員交流会等 8回

(4) ものづくり交流フォーラム・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「プラズマ技術」と「次世代産業を見据えたプラスチック材料・表面技術」をテーマとした、ものづくり交流フォーラムを開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり交流フォーラム

開催日 平成25年2月20日、21日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 370人

イ 工業技術グランプリ

開催日 平成25年2月20日

場所 名古屋市工業研究所

受賞企業 8企業

(5) 情報提供・交流フロアの運営

急速な技術開発に対応し、最新技術の情報を正確かつ迅速に提供するため、産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者 6,117人

情報交流フロア利用者 11,730人

7	産業人材育成事業	決算額	24,905千円
---	----------	-----	----------

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の確保、熟練技能者の退職に伴う技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化のための研修・実習等を開催した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習を行った。

電子回路技術研修など10コース 受講者 108社 169人

イ 中小企業技能者育成講座

技能の継承を支援するため、熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座を実施した。

鉄工技能士1級2級受検対策講座など3コース

受講者 34社・5学生・15個人 56人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、業種を問わず産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等を開催した。

「ものづくり支援講座」として6コース

ア 産業用ロボット作業員特別教育講習会

開催 年6回(奇数月隔月) 受講者 131社 196人

イ 現場管理者の生産管理技術(トヨタ生産方式)研修

受講者 15社 25人

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者 30社 43人

エ 機械設計図面の書き方研修

受講者 11社 15人

オ 知的財産担当者養成講座

受講者 前期 9社 10人

後期 5社 5人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者 9社 10人

8	工業技術情報提供事業	決算額	14,355千円
---	------------	-----	----------

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行った。

(1) 工業技術相談・指導

ア 工業技術相談

相談件数 85件

イ 工業技術指導

指導回数 10回

(2) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成25年1月25日
場所 ホテルキャッスルプラザ
参加者 123人

(3) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成24年11月2日
場所 ナブテスコ(株) 岐阜工場・垂井工場
参加者 29人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 4回 発行部数 各1,500部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

展示企業 7社

(イ) カタログ展示

展示場所 名古屋市中企業振興会館
名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや)
名古屋市工業研究所

展示企業 20社

エ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

オ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

9	経済交流・誘致促進事業	決算額	7,595千円
---	-------------	-----	---------

(1) 見本市・展示会の開催・誘致

ア 第15回国際福祉健康産業展「ウェルフェア2012」の開催

開催日 平成24年5月25日～27日
 場所 ポートメッセなごや
 出展者 133社・団体
 来場者 70,687人
 内容 福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示
 同時開催 「介護・福祉・医療関連の就職・転職説明会」
 (開催日 平成24年5月26日)

イ 次世代ものづくり基盤技術産業展

－TECH Biz EXPO 2012－の開催

開催日 平成24年11月28日～30日
 場所 ポートメッセなごや
 出展者 218社・団体
 来場者 18,986人
 内容 次世代自動車・航空機・鉄道・医療機器・再生可能エネルギー産業などへ活かす新素材・最新加工技術・関連サービス等を紹介

(2) 外資系企業誘致促進事業

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 17件

